（第２号様式）

神奈川県教育委員会教育長　殿

令和４年４月１日

県立上矢部高等学校長

令和４年度　学校評価報告書（目標設定・実施結果）

	視点	４年間の目標 （令和2年度策定）	１年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 （　月　日実施）	総合評価（　月　日実施）	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1	教育課程 学習指導	①生徒の主体的な学習と、進路実現のための精選された教育課程編成を行う。また、各教育活動の相互交流が可能な教育課程の編成を行う。	①学習指導要領の理念を受け、本校に合った教育課程の運用を図る。生徒の個性・適性や、進路実現に向けた選択科目の精選を行い、生徒の学習の機会の補償を重視した教育活動を展開する。	①生徒に求められる力について職員の共通理解を図り、教育課程を運用する。科目選択の指導時に生徒に趣旨を理解させる。	①本校に合った教育課程を運用し、生徒等に発信できたか。					
		②生徒のわかりやすさに配慮した組織的な授業改善や、主体的な学習習慣の育成に取り組む。	②主体的・対話的で深い学びの視点、及びインクルーシブ教育推進を踏まえた授業改善を一層推進し、教員研修会等の実施や内容の充実を図る。	②年間を通して組織的な授業改善に取り組む。ICT の活用の推進や授業の構造化に取り組む。	②主体的・対話的で深い学び、及びインクルーシブ教育推進につながる授業改善ができたか。					
2	生徒指導 ・支援	①生徒一人ひとりの個に応じた支援・相談体制の充実を図る。また、基本的な生活習慣の確立を図る。	①生徒一人ひとりの困難さやニーズに合わせた支援体制、相談体制の充実を図り、課題の解決にあたる。	①規範意識を高め、ルールやマナーを守る指導を行う。登下校指導、遅刻防止指導を行う。支援を必要とする生徒に支援を行う。	①基本的生活習慣が改善されたか。教育相談連絡会やケース会議を、支援の必要な生徒に生かし、課題の解決につながったか。					
		②生徒が主体となった部活動、学校行事等を推進する。	②特別活動等、生徒が主体的に活動できるよう支援し、達成感等が得られる場面を設定することで、課題解決能力の向上を図る。	②生徒主体で運営を任せる場面を設け、良い点は評価し、運営する力を身に着けさせる。	②生徒が主体的に活動し、自己を大切にする意識が高まったか。					
3	進路指導 ・支援	①多角的な視点を持ったキャリア教育を展開する。	①生徒の個性や進路意識の段階を踏まえ、個に応じたキャリア教育を推進し実践する。キャリア教育の視点を生かした教科指導、特別活動の指導内容等を研究する。	①生徒・保護者から情報を収集し、職員で共有する。教科指導、特別活動等とも連携し、多面的なキャリア教育を実践する。	①生徒の個性や意識を踏まえた様々なキャリア教育を実践できたか。					

	視点	４年間の目標 （令和2年度策定）	１年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 （　月　日実施）	総合評価（　月　日実施）	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
3	進路指導・支援	②生徒・保護者への情報提供の機会の充実と、相談体制の確立を行う。	②生徒・保護者対象の説明会の実施、及び面談時の進路情報の提供の機会や内容を充実させる。	②生徒・保護者のニーズに応じた多様な形態のガイダンスや指導方法を研究、実践する。	②説明会、面談等での進路情報の提供、情報発信が適切で充実したものであったか。					
4	地域等との協働	①地域と連携し、学校の特色を周知するとともに生徒の社会性を育成する。 ②地域との協働による幅広い教育活動の場面を設定する。	①学校の教育活動を説明会や電子媒体、生徒の発表等で地域等に向けて発信し、地域との協働や地域貢献活動の充実を図る。 ②地域の教育力を活用できる仕組みの充実と開拓を進める。教科「キャリア」の教育活動を地域社会において実践的に行う。	①ＰＴＡ等との連携した活動によって、学校の教育活動を地域に発信する。地域の活動に生徒が参加できる場面を設定する。 ②説明会やイベント等で、生徒の活躍の機会を設定する。教科「キャリア」の教育活動を実践し、その効果を学校全体で共有する。	①学校の教育活動を地域に向けて発信できたか。地域の活動に生徒が参加できたか。 ②生徒の地域での生き方や在り方のイメージづくりにつながったか。					
5	学校管理 学校運営	①全職員の共通理解のもと人権に配慮した生徒への対応を行う。 ②安全・安心で信頼できる学校環境の整備を行う。業務の効率化を行う。	①職員の共通理解のもと、人権に配慮した教育活動を行う。 ②業務の効率化を進めるとともに、事故・不祥事防止に取り組む。成績処理や会計処理等を正確に行う。	①障害者、マイノリティに対する理解等、人権に配慮した研修会を行う。 ②不祥事防止研修や点検シート等で不祥事防止に取り組む。文書等の管理について、正確に実施する。	①人権に配慮した教育活動を職員会議等で確認できたか。 ②マニュアルやハンドブック等に基づき適正な事務処理を行い、管理等を徹底したか。					